

WILSON  
AUDIO



# DUETTE

[www.ohbashoji.co.jp](http://www.ohbashoji.co.jp) 1-5-7 5F, Moto-Akasaka, Minato-ku, Tokyo, 107-0051, Japan

# DUETTE



ウィルソン・オーディオは常に新しい視点から製品を開発し、その高い技術を開発した新製品や既存の製品のアップデートに応用しています。最新のトップエンドモデル、アレキサンドリアX-2に組み込まれた先端技術を持ち、さらに狭いリスニング環境でも最大の効果をもたらすスピーカーを心待ちにする声が高まる中、ついに実現されました。デュエットと命名されたウィルソン・オーディオの最小モデル、しかしそのスケールはウィルソンのDNAを少しも犠牲にすることなく、朗々と音楽を唄うスピーカーとなりました。

ウィルソン・オーディオの命題はいくつかありますが、その中で重要なことは、ダイナミックレンジを大きくとれる製品を開発することです。ダイナミックレンジとは最小レベルから最大レベルまでの幅をいいますが、この幅が広がれば広いほど、はっきりとした階調表現とダイナミックシェイディングが美しく細やかに再現されます。所謂ノイズフロアレベルを下げ、音の間に確かにある静かな質感を明瞭にすることで、コントラストのあるダイナミックなシャドウが動きを持った線として迫ってくるのです。これを視覚で喩えるならば、レンズがクリアになることを意味します。「スピーカーは音楽を見る窓である」、とウィルソン自身が再三口にするのはこのためです。

さて、その手段ですが、ネットワークの性能を凌ぐ音はドライバーからは得られません。ネットワークはそれほど大切なのです。数多くの電機部品を使用してフェイズを整えることは一つの方法ですが、しかしその際、肝心のダイナミックレンジが犠牲になってしまいます。

少ないパーツで多くのパーツを使ったネットワークと同等の性能を持たせ、フェイズとダイナミックレンジを拡げること。それがウィルソンの開発したアスフェリカルグループデレイという回路です。アスフェリカルとは、レンズの歪み(位相)を合わせるには球面ではなく、非球面のレンズを入れることによって好結果が得られる、ということを目指す光学用語です。そこにヒントを得て、各周波数によってデレイを変化してかけていき、リスニングポイントでフェイズの一致を見ていくのです。受け持ち帯域の異なるユニットを動かせば補正はできますが、そうでないスピーカーにおいては大変な作業です。デュエットではその技術的恩恵が組み込まれました。ケーブル、ネットワークとのコンビネーションでその目的が達成されています。

もちろん、コントラストを高くするには、一旦振動した(音が出た)後は直ちにコーンが止まらなければなりません。そのためのダンピングも考慮し、試聴を繰り返してネットワークを制作しました。

限られた体積でドライバーを最大限ストレスフリーに動作させるには、ネットワークを別置きにすることです。これによって、干渉波も押さえられ、また、単体重量の軽減と共に設置の自由度も拡がりました。

SACD、DVD-Aなどのフォーマットが発表され、それによるディスクが発売されている今日、取えていうならば、可聴帯域を超える音域よりも、可聴帯域、特に200Hzから6000Hzまでの音域こそが非常に大切な部分となってきます。というのもDSDフォーマットによると、可聴帯域のノイズレベルを下げたそのノイズは可聴帯域を超えた部分に持って行ってしまふからです。つまり、20kHz以上はノイズ成分が非常に多い、したがって、SACDではその部分を聞こえないものとしてあきらめ、いかに可聴帯域のノイズを下げるかが重要だということです。ツイーターの内部ダンピングはダイナミックコントラストの表現に非常に大切な質量ですので、デュエットではシルクドームとしました。

大切なエンクロージャはウィルソン・オーディオのこれまでの経験とノウハウから、第三世代M材を主体として、要所に非共振X材を用い、キャビネットのダンピング、共振性能を最適に設計しました。スパイクによる設置を前提としておりますが、スパイクはキャビネット側面、底面に埋め込まれたマグネットによって保たれ、スパイクディスクを使用しますので、大切な家具などに傷を付けることもありません。スピーカーが接地面から独立しますので、所期の目的であるダイナミックコントラスト、サウンドステージの再現に大いに役立っています。

次に、スペースの問題です。デュエットはリスニング空間を大きくとりたい方には理想的なスピーカーです。後壁面にできるだけ近づけて使用することを前提条件として、その設定でサウンドステージが浮かび上がる再現性を持たせました。後壁面からの距離によって、微調整を行えるように、ネットワーク、スピーカー間のケーブルを変えて、グループデレイを最小にする、という方法をとりました。ブックシェルフ、スタンドを使用してのフリースタANDING、ウォーマウントという3種類の設置条件に柔軟に対応することがこのデュエットの特徴です。設置方法は高さ、条件によって細かく最適方法がウィルソン自身の手により指定されております。

このように、インテリアと溶け込める、スピーカーの視覚的な重い存在感をなくすように設計されています。ですからインテリアコーディネイトも大切です。5種類のスタンダードカラーに加え、11種類の特別カラーからもお選びいただけます。カラーは下地二層、カラー部分二層、クリアコート七層という手の込んだ仕上げとなっています。

設置場所を選ばず、ウィルソン・オーディオの主張であるサウンドステージ、広いダイナミックレンジ、位相整合などを他か入れバルで実現させたスピーカーがデュエットです。オーディオを意識しないでも、また、オーディオに深くインボルヴされたファイルでも、心から音楽に没頭して楽しむことができる、理想のスピーカーに仕上がりました。



## Specifications

※専用スタンドは別売りです

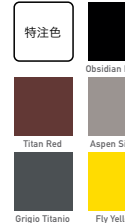
|            |                                |
|------------|--------------------------------|
| インピーダンス    | 4Ω(ノミナル)最低3Ω                   |
| ユニットサイズ    | ウーファー:20cm ツイーター:2.5cm         |
| 能率         | 89dB(2.83v/1m)                 |
| ミニマムアンプパワー | 7w/chP                         |
| 周波数特性      | 36Hz - 32.5kHz(+0, -3dB)       |
| サイズ        | 283mm(W) × 468mm(H) × 350mm(D) |
| 重量         | 17.6kg(本体) 8.4kg(ノベルクロスオーバー)   |

### キャビネットカラー

### Standard Colors



### Order Colors



### Grill Cloth



このカタログに記載の仕様、規格、および外観などは改善のため予告無く変更することがあります。また、図版の色彩は印刷インキや撮影条件などにより、実際の色と異なる場合がございます。あらかじめご了承下さい。